

外国人研究生を希望される方へ

2018年7月31日

札幌市立大学 大学院デザイン研究科

1. 問い合わせ内容

教員に問い合わせを行う際は、以下の内容を記載してください。

- (1) 当該教員の研究室を希望する理由、およびその研究分野に関するあなたの知識レベル
- (2) 当該教員のもとでどのような研究をしたいか
- (3) デザインに関する知識や技能、およびプロジェクト学習・研究に関わった経験
- (4) 日本語に関する能力、英語に関する能力
- (5) 札幌市立大学デザイン研究科への進学希望の有無(進学希望なし、博士前期課程(修士)の進学を希望、博士後期課程(博士)の進学を希望 等)
- (6) 学費や生活費の準備状況
- (7) 大学の卒業予定時期と研究生の入学希望時期
- (8) 卒業した(卒業予定の)大学は4年制大学か3年制大学か

2. 添付資料

問い合わせの際は、次の書類(全て日本語版)をPDF等のデータにしてメール添付してください。

- (1) 履歴書(大学、学部、学科、専門を記載すること、写真を貼ること)
- (2) 成績証明書(申し込み時での単位取得状況)
- (3) ポートフォリオ
- (4) 研究計画書(可能であれば)
- (5) 日本語能力証明書(日本語能力試験、日本留学試験)
- (6) TOEFL や TOEIC のスコア等、英語能力がわかる証明書

3. 研究計画書について

研究計画書は、受け入れを判断する上での重要な資料です。大学院の入試でも求められますので、申請者自身が考えて内容の良いものを準備してください。その際、研究テーマに関わる基本的な文献を読んでいることがわかるように記載してください。そして、その正確な理解を計画書に反映させてください。研究計画は次の点に注意して執筆してください。

- (1) 興味を持った研究分野(漠然とした「建築」とか「製品」ではなく、**具体的な内容**)
- (2) その分野に関連する論文(一つか二つでよい)のタイトル(と発表雑誌(学会名)や発表年)
- (3) その論文に関する以下の内容
 - a. 「興味を持った内容」の要約(わかる範囲でかまわない)
 - b. 何故そこに興味を持ったのか
 - c. 自分のこれまでの勉強との関係

4. その他の注意点

- (1) 本研究科で研究するには、日本語で授業を受け、日本語で学术论文を読み、議論に参加する語学力が必須となります。日本語で学位論文を書く場合はアカデミックな文章を書く力も必要となります。また、日本語だけでなく、英語の学术论文を読み、正確に理解する力も必要です。
- (2) 希望する指導教員の研究分野の論文を少なくとも数本読んだ上で、その教員の指導を希望する理由を明確にしてください。
- (3) 博士後期課程まで進学することを希望している場合は、そのことを明確にしてください。
- (4) 原則的に、インターネットを使った教員面接を行います。
- (5) 「来日してから何か奨学金を探しますので、入学させて下さい」などという人は受け入れられません。また、「アルバイトで学費や生活費を確保します」という人も受け入れられません。
- (6) 大学院はコースワークだけでなく、修了研究をするところです。学会等で発表できるレベルの修士論文を書くことが必要になります。自分の勉強をしたいだけの人、自分の技術を高めたいだけの人、自分の作品を作りたいだけの人には、不向きです。
- (7) 複数の教員に同時にメールを出さないでください。もし、希望を一人の教員に絞ることが難しい場合には、相談してください。
- (8) 「研究」が何を意味するかわからない人は、各自で調査してください。